

カシコイモノ

シリーズ・日本人と聖書

キリシタン時代

- 最初の日本語訳聖書
 - 「サン・マテヨのエワンゼリヨ」(マタイの福音書):現存せず!
- キリスト教(カトリック)布教開始
 - 1594年、フランシスコ・ザビエル
- 爆発的拡大
 - 80年間に80万人がキリシタンとなった
- 禁教・キリシタン迫害

日本初の活版印刷

- ヴァリニャーノ宣教師、天正遣欧使節の帰還と共に。大分県加津佐（1590年）
- ゲーテンベルグの活版印刷機
 - 『サントスの御作業』『どちりな・きりしたん』『すぴりつある修行』『こんでむつすむんち』『おらしよの翻訳』など
- 「どちりな・きりしたん」（キリスト教の教理）
- 聖書の翻訳・印刷はなし

最初の日本語訳聖書

- ギュツラフ(米国商務庁の通訳)
- 1837年、シンガポールにて
- 尾張小野浦の漁民、岩吉、久吉、乙吉
- ヨハネ福音書・手紙Ⅰ～Ⅲ
「ハジマリニ カシコイモノゴザル
コノカシコイモノ ゴクラクトモニゴザル」
＜ヨハネ1:1＞

新嘉坡堅夏書院藏板

約翰福音之傳

約翰之福音傳

ヨアンチスノ　タヨリ　ヨロコビ

一節

ハシマリニ　カシコイモノゴサル、コノカシコイモノ　コケフクトモニゴサル、コノカシコイモノヲダケラケ。

二

ハシマリニコノカシコイモノ　コケフクトモニゴサル。ヒトワコトゴトク　ミナウケル、ヒトツモ　シゴトワウケラフ、

四

ヒトツケラヌヲハ。ヒトニカニイノチアル、コノイニチア　ニンゲンノヒカリ。コトヒカリヲ　クラサニカ、ベケ、

五

六

タ、シツ　セカイノクライ　ニンゲンノ　カノヘンシニナンサ。ニンゲンノアル　ナクヨハンチス、コケフケラフカウシテ。

約翰之福音傳

ヨア

一節

ハシマリニ　カシコイモノゴサル、コノカシコイモノ

個人訳聖書

- ベッテルハイム
 - 鎖国を待って琉球で宣教(1846～1854)
 - ルカ, ヨハネの福音書, 使徒言行録, ローマ, 1855年香港で出版
- ゴーブル
 - ペリー艦隊の乗組員
 - 1860年宣教して来日し、『摩太福音書』を1871(明治4)年に出版した.

ベッテルハイム訳

聖書翻訳の難しさ

- 「神」の翻訳をめぐって
 - デウス 大日 天道 ゴクラク
 - 「カシコイモノ」(「海嶺」から)
- 言葉を翻訳するとは文化を翻訳すること
 - お経との違い
- “Sola Scriptura”(聖書のみ)
 - 聖書の権威
 - 信仰者の自立